

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

渡名喜村むら・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

沖縄県島尻郡渡名喜村

3 地域再生計画の区域

沖縄県島尻郡渡名喜村の全域

4 地域再生計画の目標

本村の人口推計を国勢調査で見ると、昭和 35 年に 1,485 人であった人口が昭和 50 年には 721 人とおよそ半数に激減した。その後 500～600 人の間で増減を繰り返したが、令和 2 年調査では 346 人と人口減少に歯止めがかからない状況である。

年齢階層別人口の推移を年齢 3 区分別で比較してみると、年少人口（0～14 歳）は平成 17 年の 63 人から令和 2 年の 174 人まで減少した。一方、老年人口（65 歳以上）は、平成 17 年が 165 人と全人口の 31.1%に対し令和 2 年には 143 人と全人口に対する割合が 41.3%と上昇しており、更に少子高齢化が進むことが想定される。また、生産年齢人口（15～64 歳）も昭和 50 年の 336 人をピークに減少傾向にあり、令和 5 年には 149 人となっている。

本村の社会動態をみると、令和 2 年に本村に移り住んできた人の数は 17 人、逆に転出した人の数は 28 人となっていて、転出した人の数が 6 人上回っており、平成 6 年から平成 18 年は増減を繰り返してきたが、平成 19 年以降は転出数が転入数を上回る社会減の年が多くみられる。

本村の自然動態では、令和 2 年に生まれた人の数は 1 人で、亡くなられた人の数は 8 人となっており、自然増減では 5 人の減少となっている。平成 6 年以降の自然増減数の推移をみると、平成 7 年、平成 23 年、平成 30 年を除き、死亡者数が出生者数を上回る自然減となっている。

本村の人口は、高齢者の増加が出生数を上回り、他地域からの転入者がほとんどなく、人口減少の原因は出生数の減少（自然減）や転出の増加（社会減）等が主な要因と考えられる。

高校がない本村では子供たちが15歳で村を離れていかなければならず、このまま人口減少が進むと様々な産業の担い手不足や地域コミュニティの機能低下など本村の活力が失われ、地域経済等の衰退といった課題が生じる。

上記の課題に対応するため、本村では「住みよいむらづくり」「活気あるひとづくり」「魅力あるしごとづくり」を柱に次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、各種施策を展開し、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 渡名喜島の「住みよいむら」を整える
- ・基本目標2 渡名喜島の「活気あるひと」を育てる
- ・基本目標3 渡名喜島の「魅力あるしごと」を創出

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	0人	1.89人	基本目標1
	総人口に占める児童生徒の割合	5.7%	8.2%	
	社会増減数	-15人	+50人	
イ	生涯学習に取り組む人の割合	2.9%	15.0%	基本目標2
	地域貢献活動・社会活動をする人の割合	3.3%	80.0%	
ウ	農業就業人口	23人	25人	基本目標3
	個人漁業経営体数 (専業+兼業)	46人	48人	
	観光入込客数	530人	6,000人	

	担い手を確保	1人	2人	
--	--------	----	----	--

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

渡名喜村むら・ひと・しごと創生推進事業

ア 渡名喜島の「住みよいむら」を整える事業

イ 渡名喜島の「活気あるひと」を育てる事業

ウ 渡名喜島の「魅力あるしごと」を創出する事業

② 事業の内容

ア 渡名喜島の「住みよいむら」を整える事業

- ・子育て支援の継続や、子育てしやすい環境を整える。
- ・豊かな海の環境改善や伝統的建造物群保存地区を軸としたむらづくり。
- ・移住者受け入れや村民が豊かに生活できるよう自然環境及び生活環境を整える。

【具体的な事業】

- ・妊婦・子育て支援事業
- ・島が一体となった子育て環境の整備事業
- ・島の生活利便性の向上をはかる事業（移住定住環境整備含む。） 等

イ 渡名喜島の「活気あるひと」を育てる事業

- ・「人材をもって資源と為す」を村づくりの基軸とし、社会や地域に積極的に関わる取り組みを推進する。
- ・自分らしい生き方を見出す取組等を進め「活気あるひと」を育成する。

【具体的な事業】

- ・自ら学ぶ意欲を持ち、幅広い知識と教養のある人づくり推進事業

- ・郷土を愛し、郷土の自然と文化を守り継承・発展に寄与する人づくり推進事業
- ・地域に愛着と誇りを持ち、協働のまちづくり推進事業 等

ウ 渡名喜島の「魅力あるしごと」を創出する事業

- ・村がもっている資源・特性と融合した「魅力あるしごと」を創出する。
- ・農漁業の後継者を増やす取り組みを行う。

【具体的な事業】

- ・農業・漁業・新産業の創出事業
- ・観光産業の振興事業 等

※ なお、詳細は第2次渡名喜村総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

50,000千円（令和5年度～令和6年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度3月頃に外部有識者（村内各種団体の代表者等）を交えた場にて効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本村公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から令和7年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から令和7年3月31日まで